
平成23年度電気事故アンケート調査結果について

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

平成23年度に電気事故報告を行った設置者に対しアンケート調査を実施しました。
昨年度に発生した波及事故110件のうち65件の設置者から回答を頂きました。
アンケート結果及び主な意見を紹介します。
※項目によっては未回答もあります。

Q1.電気事故後に保安に対する意識の変化はありましたか？

保安に対して意識するようになった 58件(89%)
特に変化はない 4件(6%)
その他 3件(5%)

事故後、多くの方が保安に対して意識するようになりました。

Q2.事故後、対策をしておけばよかったと後悔した事がありますか？

はい 42件(65%)

- ・避雷器を設置しておけば良かった。
- ・自身の電気設備に対して過信があった。
- ・PAS、UGSを設置しておけば良かった。
- ・点検記録の所見をきちんとフォローしておけば良かった。
- ・主任技術者と十分に意思疎通を図っておくべきだった。
- ・主任技術者からの指摘事項に対してもっと早く対応すべきだった。
- ・主任技術者から波及事故防止対策を施すよう何度も言われていたが、対策をとらなかった。
- ・高圧ケーブルの取替について、定期点検で指摘された時点で、速やかに改修すべきだった。
- ・点検の指摘事項について、本日も交えきちんと対応すべきだった。
- ・高圧設備について計画的に更新を行い、耐久年数以内しておくべきだった。
- ・PASを投入する際に主任技術者に連絡をすべきだった。
- ・掘削工事を行う際、事前に埋設管に位置等についてきちんと打合せを行い事前確認を行うべきだった。
- ・不測の事態に供えた対応策をきちんと協議しておくべきだった。
- ・緊急時の連絡体制が不十分だった。
- ・近隣住民に迷惑をかけて申し訳ないと思う。

いいえ 20件(31%)

機器の取付、更新の話があった場合は計画的に設備改善を行って下さい。

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

Q3. 事故後に改善した事がありますか？

はい 51件(78%)

- ・主任技術者と連携を密にするようにした。
- ・掘削工事に際して、関係者間において、事前に打合せ等を密に行うようにした。
- ・設備の操作手順書の見直し及び操作キーの管理運用システムの構築を行った。
- ・避雷器を設置した。
- ・小動物侵入対策を実施した。
- ・VT、LA内蔵型PASを設置した。
- ・緊急時のマニュアルや連絡体制を見直した。
- ・高圧引き込みケーブルをE-Eタイプに更新した。
- ・高圧受変電設備を全て改修した。
- ・緊急時における各電気設備の使用方法の確認を行った。
- ・事故について他事業所に水平展開を行うとともに会社内にて勉強会を開催して再発防止を図った。
- ・キュービクルに主任技術者の緊急電話番号を表示した。
- ・高圧設備の管理台帳を作成した。
- ・他事業所も含め、老朽化した電気設備の更新を行った。
- ・事故を契機に主任技術者の重要性を認識した。今後は定期点検等の指摘事項に対して真摯に対応するようにする。

いいえ 11件(17%)

事故により、突然停電となり、出費を要することになります。できるだけ、計画的に設備改修を行って下さい。

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

Q4.事故が発生する以前に、事故の予知は可能でしたか？

はい 8件(12%)

- ・定期点検で指摘を受けていたため、設備不良箇所についての認識はあった。
- ・定期点検で設備更新を推奨されていたため、予知は可能だった。
- ・定期点検結果について主任技術者の指導に対して素直に従うべきだった。
- ・主任技術者の適切な判断指示があれば予知は可能と考える。
- ・ネズミの侵入対策について、点検時に防護柵を施したが、絶対と言うのは難しいので、不安はありました。
- ・キュービクル天井のスリットに対して小動物侵入の可能性について管理技術者から言われていた。

いいえ 55件(85%)

- ・年次点検のケーブルの絶縁抵抗測定値は良好で予知は全く不可能でした。

設備の不良は停電・感電事故の原因になる可能性があります。放置せず、まずは設備改修の検討を行って下さい。また、掘削工事を行う場合は主任技術者に相談して下さい。

Q5.事故発生時の緊急連絡体制は有効でしたか？

はい 54件(83%) いいえ 8件(12%)

- ・緊急連絡体制が確立されていなかった。
- ・保安規程の内容を理解していなかったため、主任技術者への連絡が遅れた。
- ・緊急時においては、自分で勝手に判断せずすぐに主任技術者に連絡するように指導されていたのにしなかった。
- ・時間外、特に深夜帯の連絡網が構築されていなかった。
- ・保安法人に夜間緊急連絡先を伝えていなかった。

速やかな連絡が停電時間を短くします。
定期的な緊急連絡先の見直しを行って下さい。

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

Q6. 事故後、類似の事故を防ぐために行った行動・工夫・変化はありますか？

はい 39件(66%)

- ・UGSの操作禁止札を貼り付け、誤操作を防ぐようにした。
- ・PAS、UGSを設置した。
- ・高圧ケーブルの点検を強化するようになった。
- ・他事業所も含め、PASの設置状況を調査して未設置事業所についてはPASを設置する。
- ・管理技術者や工事会社のデータを確認するだけでなく、コミュニケーションを密にするようにした。
- ・他事業所も含め、社内で避雷器の設置について予算化を図る。
- ・雷情報について注意するようになった。
- ・事件事例について、他事業所に水平展開を行った。
- ・老朽化した電気設備に対して計画的に早期改修を計画している。
- ・ケーブルの地中埋設箇所に表示を施した。
- ・定期点検の結果について、設置者側としても詳細に現況等を確認することにした。
- ・他事業所に対して、波及事故防止策の調査、検討を要請した。
- ・緊急時の連絡体制を再検討した。
- ・保安規程を遵守するとともに、設備更新等については今後早め早めの対応を心がけたい。
- ・各電気設備の設置経過年数を調査し、更新を順次行っている。
- ・主任技術者の指摘事項を一覧表にまとめ、緊急性の高いものから優先順位づけをし、電気工事店に回収依頼した。
- ・営繕担当に受電設備の改善すべき箇所の一覧表の作成を指示して、順次改善することとした。
- ・社内で連絡体制の見直しを行うとともに、緊急時に主任技術者へ連絡を行うよう徹底する。
- ・定期点検の報告書の内容を十分に確認するようになった。
- ・小動物の侵入防止対策を実施。
- ・キュービクルの鍵の管理徹底するようにする。

いいえ 20件(31%)

大半の方が事故後に様々な防止対策を行っています。日頃の対策で、事故を未然に防ぎましょう。

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

Q7. 事故後、会社の操業に影響はありましたか？

はい 23件(35%)

- ・電気の復旧に半日を要したため、テナント業務に支障が生じた。
- ・操業停止により自社製品の納期が遅延した。
- ・停電の影響で保冷商品进行处理せざるを得なくなった。
- ・当日の業務が停止した。
- ・3日間に亘り、場内機械、倉庫が使用できなかったため休業した。
- ・当社ビルの電話交換機に影響が出た。
- ・近隣ビルの冷蔵庫、パソコンサーバーに影響を与えてしまった。
- ・電気機器の一部が故障してしまった。
- ・停電したため、営業ができなかつた。
- ・施設の営業が中止になった。
- ・停電普及に半日以上要し、その間の全業務が停止した。
- ・近隣への謝罪、クレーム対応、補償に追われた。

いいえ 38件(58%)

波及事故により平均650軒が108分(平成23年度)が停電となります。近隣への停電は事故箇所を切り離すことにより解消しますが、自らの設備は改修工事が必要となるケースがほとんどであり停電時間に長時間を要します。

会社操業停止のリスクを軽減するため計画的に設備更新をして下さい。

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

Q8. 事故に関して間接的なものも含めて損害額を教えてください。

500万円以上	1件
500万円未満～300万円以上	3件
300万円未満～100万円以上	27件
100万円未満	19件

設備の改修内容によって費用は異なりますが、仮設ケーブルのレンタル費用・緊急工事の費用等により、通常よりも費用が高くなります。

Q9. 事故に関する近隣・外部からの苦情等ありましたか？

はい 13件(20%)

- ・停電の影響で近隣宅で使用していたパソコン等が故障した。
- ・停電の間、近隣店舗の営業できなくなった。
- ・停電の影響により近隣宅のビデオデッキが壊れた。
- ・停電の影響によりパソコン作業ができなくなった。
- ・近隣の他ビルより損が賠償請求あり。
- ・近隣のスーパーの売り上げがダウンしたため、当初は金銭的な請求を求められたが、示談成立。
- ・事故当時、近隣で営業中の店舗があり、それらのインターネット関連の機械が壊れたので。賠償を求められた。

いいえ 47件(72%)

近隣を停電させてしまった場合に様々な苦情が寄せられます。
波及事故の被害者の操業停止費用が1千万円を超える事例もあります。
病院・交通機関を停電させてしまった場合は人命に関わる可能性もあります。

(参考)平成23年度電気事故アンケート調査結果について

Q9. 今回の事故に関して意見・感想等がありましたらお聞かせ下さい。

- 主任技術者の指摘事項を直ちに改修することにより、電気事故防止に繋がることがわかりました。
- 地域周辺の皆様、関係各位に多大なご迷惑をお掛けし、今後同様の事故が発生しないように防止対策を図りたい。
- 電気事故の恐さと法の整備が遅れているのでは。部品の耐久性及び検査方法に問題があるのではないのでしょうか。
- 波及事故を起こしてしまいましたが、人災が無かったのが不幸中の幸いでした。今後は、他社の事故事例等を勉強し、設備の安全強化につなげていきます。
- 定期点検実施後1ヶ月も経たず、製品自体も2005年2月製造のものであったので正直驚いています。メーカーの原因分析に期待しています。
- 近隣住民に迷惑をかけたことを深く反省しております。
- 天災で仕方ない部分もあるが防災の意識が少し甘かった。
- 今後、同様の事故が発生しないように設備面および緊急連絡体制等の対策について努めていかなければならないと改めて感じた。
- 落雷事故の重大さを痛感しました。
- 電気設備には寿命があることがよくわかりました。
- 主任技術者の能力を評価する方法があれば知りたい。
- 同じ事故を起こさぬよう設備改修に努める。
- 設備の予防保全的な考え方について意識するようになった。
- 波及事故についての予知が難しいと感じた。
- 機器が老朽化していなくても、今回のような事故が起こることがあるので、今後注意していきたい。
- 今回の事故により多くの方々にご迷惑をお掛けした事を深く反省し、今後はこのようなことがないように対策をとり工事を発注していきたいと考えます。
- 災害等が関連する事故対策は難しいと思われるが、今回の経験により改めて電気設備を見直すいい機会となりました。今後も主任技術者と連携を蜜にして古い設備を早めに交換するなど、より安全な電機設備の保守に努めていきたいと思えます。
- 保安法人の方が復旧に協力して頂き素早い対応で助かりました。

ご清聴を感謝いたします。

関東東北産業保安監督部
電力安全課